

第15回国際植物栄養会議 (XV IPNC) 参加のお誘い

香川大学農学部 馬 建鋒

第15回国際植物栄養会議 (XV International Plant Nutrition Colloquium) が2005年9月14日から19日まで中国の北京で開催される。この会議は4年に一度開催され、植物栄養分野で一番規模の大きい会議である。今回は根の研究会の皆様に関係の深い **Root Biology and rhizosphere process** というシンポジウムのセッションが設けられ、ぜひ多くの方に参加されることを期待している。会議の概要は以下の通りである。

今回のメインテーマは「食料の安全、健康と環境保護のための植物栄養学」を掲げている。以下のように植物栄養、環境、土壌、食品品質、肥料など多岐にわたるシンポジウムが予定されている。

1. 植物栄養の遺伝学と分子生物学
2. 養分の吸収、移行と生理作用
3. ミネラル栄養、食品の品質と健康
4. 根の生物学と根圏環境
5. 塩類、乾燥と植物—土壌—水関係
6. ミネラルの毒性と修復
7. 土壌生物—植物間相互作用
8. 肥料と作物生産
9. 養分循環と生態系へのインパクト
10. 養分管理：政策と実践

発表はポスターか口頭のいずれかの形式で行われるが、今年9月30日までに1ページ分の発表要旨を組織委員に送ると、12月30日までに発表形式について返事が返ってくることになる。また採択された発表については会議の論文集に収録されるために2ページ分の原稿を送る必要がある。

参加登録は発表要旨の送付とともに9月30日までとなっており、参加登録は registration@ipnc15.com、また要旨の提出は paper@ipnc15.com を通じて行なう。参加登録料は一般400ドル、学生250ドルであるが、その中には、懇親会以外のすべての飲食費が含まれている。また会議期間中に行われるミッドツアー(万里の長城見学)も含まれている。なお同伴者の場合は40ドルである。

会議終了後のツアーも豊富に企画されている。主なものは以下の通りである。

- ツアーA 西安/黄土高原農業 4泊5日 料金 580ドル
- ツアーB 曲阜/太湖/上海/昆明/麗江/農業汚染 6泊7日 料金 1200ドル
- ツアーC 北京/杭州/烏鎮/蘇州/上海 5泊6日 料金 500ドル
- ツアーD 北京/西安/桂林 3泊4日 料金 550ドル

ツアーE 北京/昆明/大理/麗江/昆明 5泊6日 料金 760ドル

ツアーF 北京/黄山/上海 4泊5日 料金 600ドル

これらの料金には宿泊費、食事、交通費、ガイド料金などが含まれている。詳しい内容はホームページ (<http://www.ipnc15.com>) を参照されたい。

重要な締切日時は以下の通りである。

登録と要旨送付 2004年9月30日

最終案内 2004年12月31日

登録料の支払い 2005年2月28日

原稿送付 2005年2月28日

国際植物栄養会議組織委員長で中国農業大学教授の張 福鎖氏によると、会議場は宿泊施設と同じ場所で、また参加者は1000人程度になるということで、大変盛大な会議になることが期待される。東京や関西空港、名古屋、仙台、福岡から北京への直行便があり、ぜひこの機会にご自身の研究発表を行うと同時に、2008年オリンピック大会直前の北京、そして目覚ましい発展を遂げている中国を一度訪ねてはいかがでしょうか。

この会議に関する連絡先は以下の通りである。

中国北京 100094

中国農業大学 資源与環境学院 植物栄養学科

米 国華 博士

Tel: 86-10-62893886

Fax: 86-10-62891016

e-mail: miguohua@cau.edu.cn